

## 野菜花き 6月下旬巡回調査結果の概要

【東北信】 巡回日 6月20日、21日、24日、25日

### 1 トマト

小諸市の巡回ほ場（露地栽培）は、着果期であった。アザミウマ類の寄生が多く、果実の白ぶくれ果が発生していた。また、頭数は少ないもののアブラムシ類（有翅虫主体）の寄生もみられた。長野市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は7～8段果房の着果中であった。6月上旬調査以上にオンシツコナジラミの寄生が多かった。また、うどんこ病がわずかであるが発生していた。

### 2 きゅうり

長野市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は収穫が終了したため、調査ほ場を移動した（施設栽培）。収穫が始まっており、うどんこ病が少発生、アザミウマ類が少発生であった。

中野市の巡回ほ場（露地栽培）は収穫期を迎えていた。アザミウマ類の寄生がやや多く、アブラムシ類の寄生はわずかであった。病害の発生はみられなかった。

### 3 いちご

南牧村の巡回ほ場では、アザミウマ類の発生がやや多く、寄生花率が高かった。病害の発生はみられなかった。

### 4 キャベツ

小諸市の巡回ほ場は結球期で、コナガ、ウワバ類の寄生が多かった。病害の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は結球期で、チョウ目害虫の被害がみられたが、平年並の発生であった。病害の発生はみられなかった。

軽井沢町の巡回ほ場は結球期で、チョウ目害虫による被害がみられたが、少なかった。病害の発生はみられなかった。

御代田町の巡回ほ場は収穫中で、べと病の発生がわずかにみられた。また、わずかであるが、コナガ、ウワバ類の寄生がみられた。

長野市の巡回ほ場は結球期で、チョウ目害虫の被害がわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。

### 5 ブロッコリー

南牧村の巡回ほ場は出蕾期であった。わずかであるが、コナガの寄生がみられ、チョウ目害虫の被害も少発生であった。病害の発生はみられなかった。

御代田町の巡回ほ場は収穫期で、べと病の発生がみられ、発生の程度は低いものの発病株率はやや高かった（図1）。また、チョウ目害虫の被害がわずかにみられた。



図1 ブロッコリーべと病（御代田町）

### 6 はくさい

上田市の巡回ほ場は、未定植であった。

小諸市の巡回ほ場は、収穫期であった。病害虫の発生はみられなかった。

小海町の巡回ほ場は、収穫期であった。チョウ目害虫の被害がみられたが少発生であった。病害の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は、結球期であった。病害虫の発生はみられなかった。

### 7 レタス

上田市の巡回ほ場は、収穫期であった。すそ枯病、斑点細菌病の発生がわずかにみられた。

小諸市の巡回ほ場は、結球期であった。病害虫の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は、結球期であった。病害虫の発生はみられなかった。

御代田町の巡回ほ場は、生育期（6葉期）であった。斑点細菌病の発生がわずかにみられた。

飯綱町の巡回ほ場は、結球期であった。すそ枯病、斑点細菌病の発生がわずかにみられた。

### 8 アスパラガス

小諸市の巡回ほ場（露地栽培）は、収穫期であった。病害虫の発生はみられなかった。

小布施町の巡回ほ場（雨よけ栽培）は、立茎期～茎葉繁茂期であった。アザミウマ類の寄生株率がやや高かった。アブラムシ類の寄生もわずかであるがみられた。病害の発生はみられなかった。

中野市の巡回ほ場（施設栽培）は、立茎期であった。茎枯病の発生がみられたが、少発生であった。アザミウマ類の寄生株率は100%と高かった。

飯山市の巡回ほ場（露地栽培）は、立茎期であった。アザミウマ類の寄生株率が100%と高かった。また、アブラムシ類の寄生もわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。

9 たまねぎ

長野市の巡回ほ場は、収穫済みであった。

10 ながいも

長野市の巡回ほ場は未萌芽であった。

11 ばれいしょ

小諸市の巡回ほ場は、生育中であった。アブラムシ類の寄生はわずかであった（図2）。ニジュウヤホシテントウ類による葉の食害痕が多く、幼虫の寄生もみられた（図3）。



図2 チューリップヒゲナガアブラムシ（小諸市）



図3 ニジュウヤホシテントウ類幼虫（小諸市）

12 きく

佐久穂町の巡回ほ場は、生育期（草丈65～75 cm程度）であった。わずかにアブラムシ類、ハモグリバエ類の寄生がみられた。病害の発生はみられなかった。

【中南信】 巡回日 6月19、21、24、25日

1 トマト

南箕輪村および松本市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）では、いずれも収穫中であった。いずれのほ場も葉、茎および果実に灰色かび病の発生がみられた（南箕輪村：少発生、松本市：中発生）。また、南箕輪村のほ場では葉にコナジラミ類（少発生）の寄生がみられた。

安曇野市および伊那市の巡回ほ場（いずれもジュース用、露地栽培）では、いずれも着果始めであった。安曇野市のほ場では花にアザミウマ類、伊那市のほ場では葉にアブラムシ類の寄生がみられた（いずれも少発生）。

2 きゅうり

松本市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）では、収穫中であった。花および葉にアザミウマ類（多発生）、ハダニ類（少発生）の寄生がみられたほか、うどんこ病（少発生）の発生がみられた。

高森町の巡回ほ場（施設・半促成栽培）では、収穫を開始していた。花および葉にアザミウマ類（多発生）の寄生がみられた。

3 すいか

飯島町、松本市の巡回ほ場ではいずれも着果始期で、松本市のほ場ではトンネルは除去されていた。松本市の巡回ほ場ではアブラムシ類（少発生）の寄生がみられたが、飯島町のほ場では病害虫の発生はみられなかった。

4 キャベツ

塩尻市洗馬および朝日村の巡回ほ場では、収穫期であった。塩尻市のほ場では外葉にチョウ目害虫による食害（少発生）が確認されたが、朝日村のほ場では病害虫の発生はみられなかった。

茅野市のほ場では生育期（9～10葉期）であった。外葉に黒斑細菌病（中発生）がみられたほか（図4）、コナガの寄生およびチョウ目害虫による食害痕も確認された（いずれも少発生）。

5 ブロッコリー

伊那市の巡回ほ場では、収穫期であった。外葉にウワバ類の寄生（少発生）およびチョウ目害虫による食害痕（中発生）がみられた。病害の発生はみられなかった。



図4 キャベツの黒斑細菌病（茅野市）

## 6 はくさい

朝日村の巡回ほ場では収穫期（前回から場所移動）、木祖村の巡回ほ場では結球期であった。朝日村のほ場では、収穫前の株に軟腐病（少発生）の発生がみられた（図5）。木祖村のほ場では病害虫の発生はみられなかった。

## 7 レタス

塩尻市洗馬の巡回ほ場では生育期、朝日村の巡回ほ場では生育初期（いずれも前回から場所移動）であった。塩尻市のほ場では、外葉に斑点細菌病（甚発生）の発生がみられた（図6）。朝日村のほ場では病害虫の発生はみられなかった。

塩尻市片丘のほ場では、結球開始前であった。病害虫の発生はみられなかった。

## 8 セルリー

原村の巡回ほ場（露地）では、収穫前であった。病害虫の発生はみられなかった。

松本市の巡回ほ場（施設）では、春作の収穫が終了していた。

## 9 アスパラガス

池田町の巡回ほ場（露地）では、立茎開始前であった。若茎にアブラムシ類（少発生）の寄生がみられた。

飯島町の巡回ほ場（雨除け）では、立茎中であった。払落し調査でアザミウマ類（中発生）が確認されたほか、立茎中の茎葉に茎枯病（中発生）がみられた。

豊丘村の巡回ほ場（雨除け）では、立茎中であった。払落し調査でアザミウマ類（中発生）およびアブラムシ類（少発生）、ハダニ類（少発生）が確認された。

## 10 たまねぎ

安曇野市の巡回ほ場では、収穫が終了していた。

## 11 ねぎ

南箕輪村の巡回ほ場では5.0葉、豊丘村では4.5~5.0葉、山形村では5.0葉であった。

南箕輪村および豊丘村のほ場では、黒斑病（いずれも少発生）の発生がみられたほか（図7）、さび病の発生が前月より増加していた（いずれも中発生）。また、全てのほ場でアザミウマ類およびハモグリバエ類の寄生がみられたほか（南箕輪村:少発生、豊丘村:多発生、山形村:中発生）、豊丘村のほ場ではアブラムシ類の寄生も確認された。

## 12 ながいも

山形村の巡回ほ場では未定植であった。

## 13 きく

富士見町の巡回ほ場（施設）では、生育期（草丈75cm）であった。病害虫の発生はみられなかった。



図5 はくさいの軟腐病（朝日村）



図6 レタスの斑点細菌病（塩尻市）



さび病夏孢子堆

図7 ねぎの黒斑病と、初期のさび病夏孢子堆（南箕輪村）